

# 十六アジアレポート 2026年1月号

JUROKU ASIA REPORT JANUARY 2026

2026年1月5日 発行 十六銀行 ソリューション営業部 海外サポート室

## 目 次

1. 上海:「中国経済の現在 ~『減速』下における成長~」 上海駐在員事務所 多保隆宏
2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

# 1. 上海:「中国経済の現在～『減速』下における成長～」

上海駐在員事務所 多保隆宏

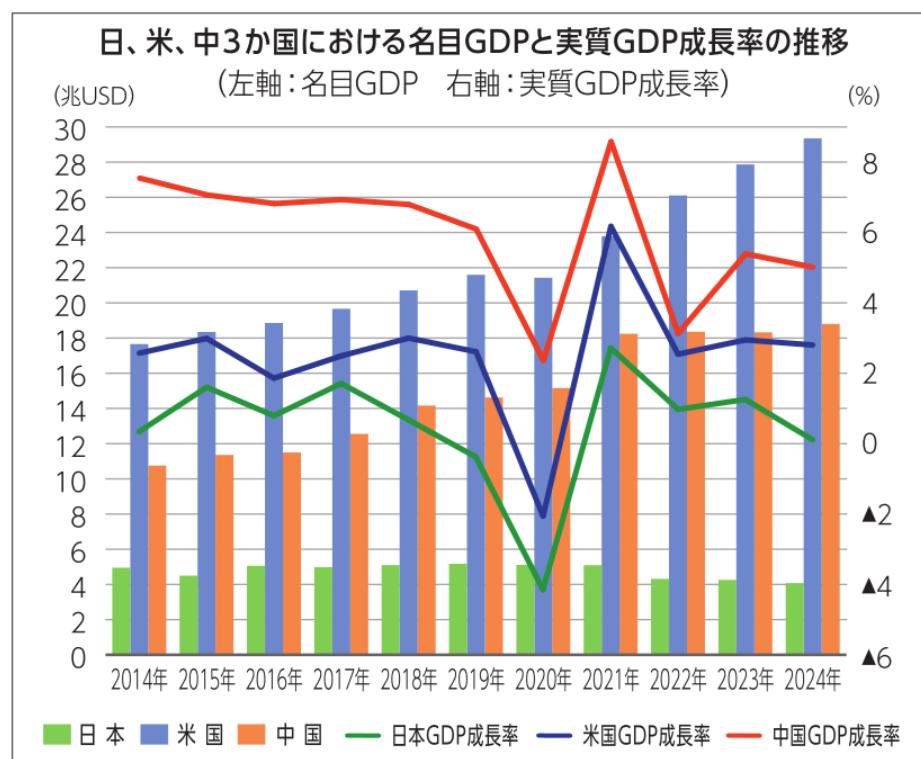
## ■ 再赴任時の印象と都市環境の変化

2025年10月、以前赴任していた十六銀行上海駐在員事務所に、改めて所長として着任しました。10年ぶりに訪れた上海では、制度・街並み・人々の生活の変化の速さに驚かされました。特に印象深い変化を2点ほど挙げます。第一に、環境規制の強化と電気自動車の普及による大気環境の改善です。かつてはスモッグが常態化し、視界が悪く、高性能マスクが欠かせませんでしたが、現在は青空が広がる日が多く、都市環境の改善は明らかです。第二に、生活インフラのデジタル化と利便性の飛躍的な向上です。上海のみならず中国全土でキャッシュレス化が定着し、日常の決済はほぼすべて二次元バーコードで完結します。現金を使用する機会は皆無に近く、モバイルアプリによる宅配・配車・決済といった各種サービスも安全かつ効率的に運用されています。社会全体のデジタル化が、生活の質と経済活動の効率を同時に高めています。



上海市浦東新区の様子

## ■ 中国経済の実態—「鈍化」ではなく「成熟」への移行



中国は米国を上回る成長率を「維持」してきました。2014年に約10.7兆ドルであった中国の名目GDPは、2024年には約18.7兆ドルへと拡大し、10年間で約1.8倍に達しました。2024年の成長率は約5%と、「減速」はしても「縮小」しているわけではなく、むしろ高水準の成長を維持したまま、質の転換を遂げています。

## ■ 認識の乖離と「減速」報道の背景

近年の日本国内における報道では、中国経済の「停滞」や「崩壊リスク」といった表現が目立ちますが、現地での体感は異なります。「経済の減速」とは、経済規模の縮小を意味するものではありません。

成長率が下がっても、絶対額としては拡大が続いているのです。加えて、景況感は人々の主觀に大きく左右されます。急流がやや緩やかになっても「流れが弱まった」と感じるよう、成長の勢いが少し弱まるだけで「景気が悪い」と受け止められがちです。また、所属する業界や地域によっても体感は大きく異なります。失業や業界再編の影響を受けやすい層ほど悲観的な認識を持ちやすく、広大な国土を誇る中国では地域差がその傾向を一層強めています。従って、中国経済の実態を正確に把握するには、成長率ではなく経済規模の推移と産業構造の変化に注目する必要があります。

### ■ 構造転換と地域発展の新局面

製造業も量から質への転換を遂げつつあります。産業用ロボット、電気自動車、ドローンなど、高付加価値分野へのシフトが進み、「技術立国」としての地位が明確になっています。単なる生産量の拡大ではなく、技術力と効率化による質的成長こそが現在の中国経済の特徴です。一方、北京・上海・広州・深圳といった大都市では生活コストが上昇し、成長の限界が見え始めています。中国は、地方都市の発展が成長の持続性を左右する局面に入ったと言えます。その象徴が、中国最南端の海南省における「海南自由貿易港」政策です。全島で独立税関体制を導入し、ゼロ関税・低税率・通関円滑化といった制度改革が進行中です。医療・IT・農業など多分野で規制緩和が実施され、富裕層向けビジネスにとどまらない幅広い産業の成長が期待されています。

### ■ 都市集中から地方均衡へ — 中国が進む新たな段階

現在、上海の新築マンション平均価格は500万元（約1.1億円）を超える一方で、2024年の上海市平均月収は約1万2,000元（約26万円）にとどまっています。この乖離は、若年層にとって上海での住宅取得を困難にしており、人口・産業の地方分散が不可避となりつつあります。今後は「地方の拠点都市が牽引し、全国の均衡ある発展を支える」段階に入ると考えられます。加えて、ビジネスで接する中国の方の多くが日本訪問経験を持ち、日中間の緊張を受ける中ではありますが、「次は日本のどこへ行きたいか」という会話が交わされるようになっています。関心の対象は東京や大阪といった大都市から、自然と共に存する地方都市や地域文化に移りつつあります。こうした潮流は、中国国内の地方振興とも軌を一にしています。中国が地方経済を活性化させることは、国全体の不均衡を是正し、持続可能な成長を実現するための不可欠なステップです。そしてその方向性は、地域創生を通じて国全体の豊かさを目指す日本の政策と共通しています。

### ■ まとめ — 「減速」の先にある成長の質

中国経済の成長は減速しています。しかしそれは衰退ではなく、量的拡大から質的成長への移行です。この10年を経て、中国は「スピードの経済」から「質の経済」へと軸足を移しつつあり、生活様式、産業構造、地域戦略において、持続可能な成長モデルへの転換が進んでいます。今後、日中両国が共有できるテーマは、地域経済の底上げと持続的発展であり、そこに新たなビジネス機会と両国の協力の可能性が広がっていると感じます。

## 2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

(月)	(火)	(水)	(木)	(金)		
11月24日	22.07164	11月25日	22.12389	11月26日	22.05218	
12月1日	22.05996	12月2日	21.98044	12月3日	22.04586	
12月8日	21.94763	12月9日	22.03080	12月10日	22.17492	
12月15日	22.07359	12月16日	21.99446	12月17日	21.97030	
					11月28日	22.07847
					12月5日	21.93127
					12月12日	22.05363
					12月19日	22.08773



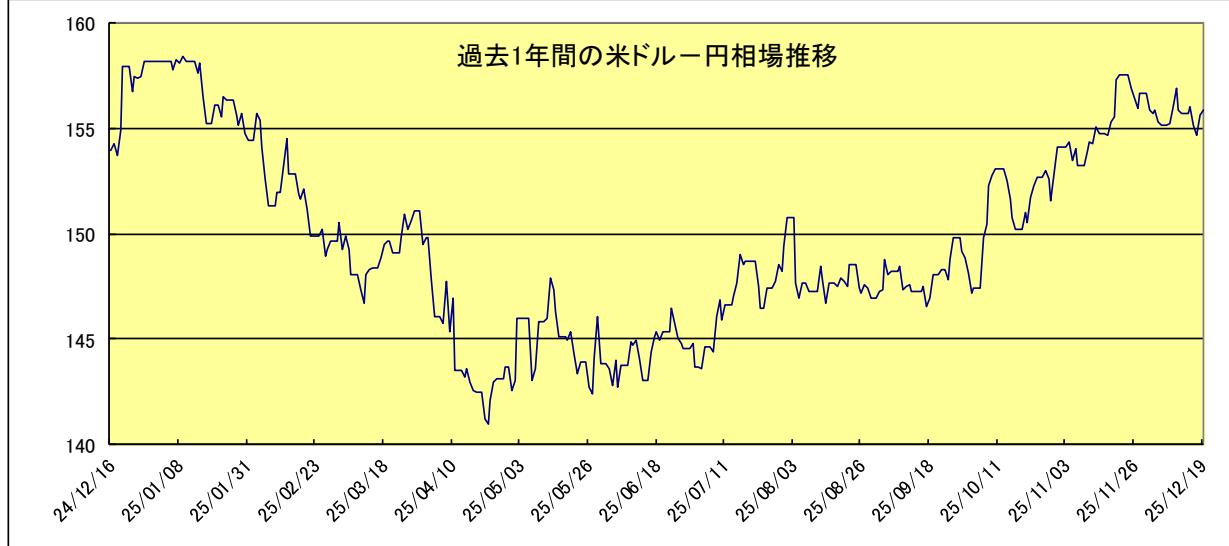
上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)	(火)	(水)	(木)	(金)		
11月24日	-	11月25日	156.87	11月26日	156.38	
12月1日	155.87	12月2日	155.70	12月3日	155.84	
12月8日	155.24	12月9日	156.03	12月10日	156.88	
12月15日	156.02	12月16日	155.12	12月17日	154.69	
					11月28日	155.91
					12月5日	155.30
					12月12日	155.12
					12月19日	155.71
						156.63



## (3) タイバーツー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1バーツ当たりの日本円)

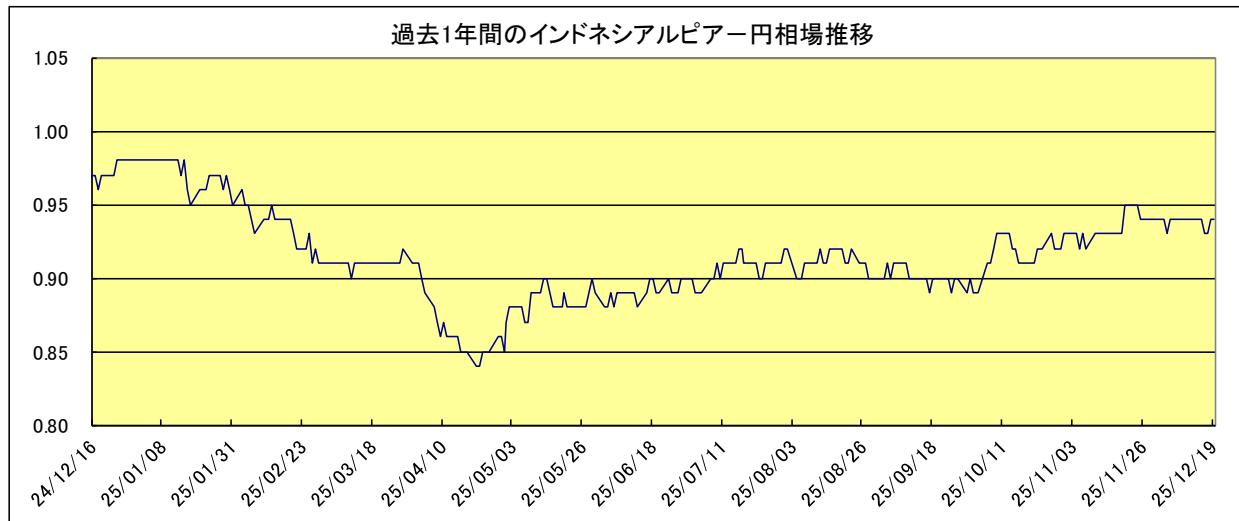
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
11月24日	-	11月25日	4.8600	11月26日	4.8500	11月27日	4.8400	11月28日	4.8500
12月1日	4.8500	12月2日	4.8600	12月3日	4.8700	12月4日	4.8800	12月5日	4.8300
12月8日	4.8700	12月9日	4.8900	12月10日	4.9200	12月11日	4.9200	12月12日	4.9300
12月15日	4.9500	12月16日	4.9100	12月17日	4.9200	12月18日	4.9500	12月19日	4.9700



## (4) インドネシアルピア円為替相場(参考値)

(単位:100ルピア当たりの日本円)

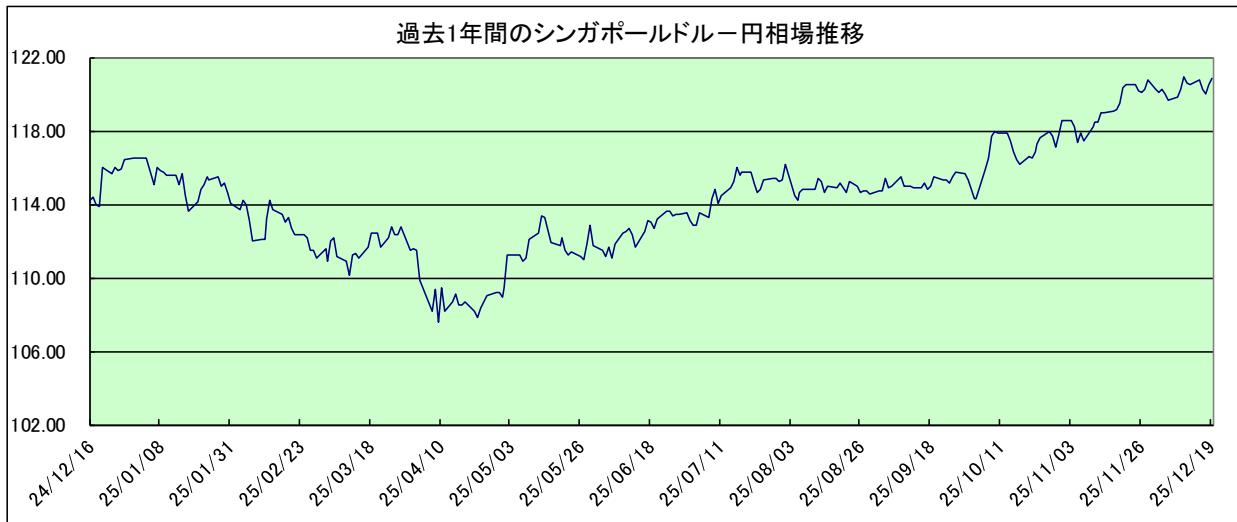
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
11月24日	-	11月25日	0.9400	11月26日	0.9400	11月27日	0.9400	11月28日	0.9400
12月1日	0.9400	12月2日	0.9400	12月3日	0.9400	12月4日	0.9300	12月5日	0.9400
12月8日	0.9400	12月9日	0.9400	12月10日	0.9400	12月11日	0.9400	12月12日	0.9400
12月15日	0.9400	12月16日	0.9300	12月17日	0.9300	12月18日	0.9400	12月19日	0.9400



## (5)シンガポールドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
11月24日	-	11月25日	120.2100	11月26日	120.1100	11月27日	120.2900	11月28日	120.7700
12月1日	120.2700	12月2日	120.0600	12月3日	120.2300	12月4日	119.9800	12月5日	119.6700
12月8日	119.8400	12月9日	120.2300	12月10日	120.9700	12月11日	120.5800	12月12日	120.5300
12月15日	120.7500	12月16日	120.2500	12月17日	119.9700	12月18日	120.5200	12月19日	120.8600



## (6)ベトナムドンー円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
11月24日	-	11月25日	5.9400	11月26日	5.9200	11月27日	5.9100	11月28日	5.9300
12月1日	5.9100	12月2日	5.9000	12月3日	5.9000	12月4日	5.8800	12月5日	5.8700
12月8日	5.8800	12月9日	5.9100	12月10日	5.9400	12月11日	5.9100	12月12日	5.9100
12月15日	5.9200	12月16日	5.8900	12月17日	5.8700	12月18日	5.9000	12月19日	5.9100

